

3. 森林破壊

2007. 1

●森林の働き

- ①生態系；森は多くの生物を養い、生物は食物連鎖によって支え合っている
- ②土；落葉、生物の糞や死骸が豊かな土を作り、木の根が流出を防ぐ
- ③水；樹木と豊かな土がダムのような働きをし、雨水を貯え少しずつ流し出す
- ④空気；炭酸同化作用（二酸化炭素を吸収し酸素を放出）と大気の浄化

●原生林；多種の樹木、多種の生物

- ・ 強固な生態系、病虫害に強い、多くの生物、「生命のざわめき」
- ・ 豊かな土が作られる、保水力にもすぐれている
- ・ 広葉樹が多く、酸素発生が多い、浄化作用が大きい、酸性雨にも強い
- ・ 乱開発、乱伐採ですでに世界の原生林は80%が失われた
（原生林はヨーロッパはほぼゼロ、アメリカは15%以下）

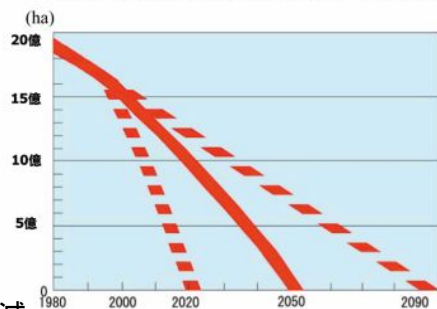
●人工林；同種の木ばかり（マツ、スギ、ヒノキ）、生物は少ない

- ・ 病虫害に弱い、生物が少ない、「静かな森」
- ・ 落葉しない木が多く土が貧しい、保水力に乏しい
- ・ 針葉樹は酸素発生が少ない、浄化作用が小さい、酸性雨に弱い
- ・ 人工林は人手（植林、間伐など）をかけないと育たない

●森林破壊の実態

- ・ 毎年日本の面積の半分の森林が失われ、さらにその半分が砂漠化
- ・ 大量の表土が流出し耕作面積が減る一方で人口増加
- ・ 成長量の数倍の速さで破壊され、このままでは100年で全滅
- ・ 森林がなくなれば砂漠化、地上生物は死滅
- ・ 熱帯林の破壊はすでに取り返しがつかない状態(99年国連UNEP報告)

森林破壊の現状（国連FAOほか）



●森林破壊の原因

- ・ 先進国の商業伐採（木材消費の急増）
- ・ 乱開発（工業用地、農地、リゾート、換金作物のためのプランテーション）
- ・ 酸性雨、地球温暖化による永久凍土の融解で森林破壊が加速

●森林の消費大国、日本

森林率68%（先進国第3位）の日本が世界第3位の木材輸入国

60年代にはフィリピン、70年代にはインドネシアの熱帯林を皆伐

現在はロシア、カナダ、アメリカ、マレーシア、中国などから大量輸入

※一年間の消費を木造住宅に換算すると

割り箸：2万軒分（年間250億膳）

牛乳パック：3万軒分（一日2000万パック）

ティシュペーパー：7万軒分（50万トン）

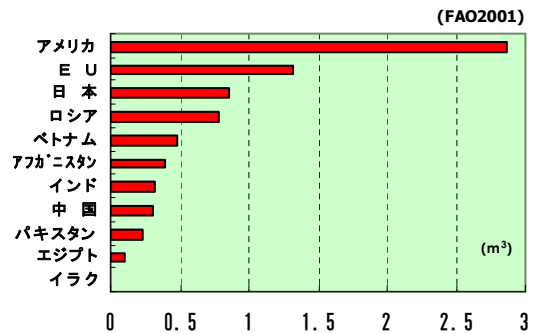
トイレトイレットペーパー：14万軒分（95万トン）

雑誌・書籍・新聞：70万軒分（500万トン）

紙製品だけで年間300万軒（1200万人分）

これは東京都の人口に匹敵する

各国の木材消費（一人あたり）



※ウッドマイレージ

= [(輸入木材の総重量) × (輸送距離)] の総和

・ウッドマイレージの高い国

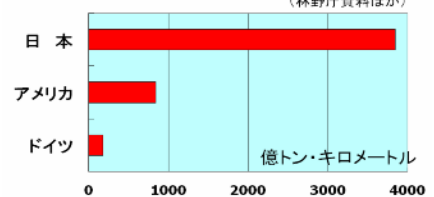
⇒輸送にかかる燃料やCO2排出量が多い

⇒環境に対して大きな負荷を与えている

・日本は莫大なエネルギーを使用し、

大量に二酸化炭素を排出している

ウッドマイレージ



●根本的な解決に必要なこと

- ・伐採には修復や保全が不可欠だが、現状の経済はそれを怠ってきた
- ・今後は修復や保全を義務付け、自給自足をめざすことが必要
- ・そのための費用をコストに上乗せする
- ・安い途上国の木材を輸入する際には、高額の間接税を課し上記財源にあてる
- ・以上のことは森林資源だけでなく、すべての資源に必要

●私たちにできること

- ・4R（やめる／減らす／再利用／リサイクル）が基本
- ・過剰包装を断る、買い物かごを持って行く
- ・再生品、リサイクル品を買う
- ・自分のお箸（マイ箸）を持参（割り箸の9割が中国などからの輸入木材）
- ・紙コップなど使い捨てを減らす
- ・不要のDMは送り返す（未開封のまま「受取拒否」と朱書きポストに投函）
- ・植林、間伐、草刈りなど保全活動に参加